

慶應義塾大学 文学部

独文学専攻

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

独文学専攻では、学士課程修了時に身につけるべき能力として下記のを定め、学則に従って卒業要件を満たし、卒業論文審査に合格した学生についてはこの能力を身につけた者と認め、学士（文学）の学位を与える。

1. 文法構造の理解と基本的な語彙の習得を基盤に、四技能（読み、書き、聴き、話す）のバランスがとれたドイツ語運用能力を身につけ、これを通じてドイツ語母語話者との活発な異文化コミュニケーションを実践することで、異文化の深い理解ならびに自文化の積極的発信をおこなうことができる。
2. ドイツ語および日本語による関連文献を通じて、ドイツ語学・文学研究ならびにドイツ語圏の文化現象全般に関する総合的知識を獲得し、この知識を基盤に当該領域に関する問題を発見・設定し、その解決に至る思考の過程を日本語またはドイツ語で論理的に記述した卒業論文を作成することができる。
3. ドイツ語固有の論理構造およびドイツ語文化圏の歴史的、文化的特性を理解することによって、日本語および日本文化を相対化する視点を獲得し、自文化に関する反省的思考を深め、これを通じて得られた異文化リテラシーを生かし、社会人として国際社会に貢献できる。

学修の最終成果である卒業論文（卒業試験）は次の審査項目を満たすものとする。

1. テーマ・問題意識が明確である。
2. 先行研究を踏まえている。
3. 方法が目的に適っている。
4. 内容が論理的で一貫している。
5. 形式が学術論文として適切である。